

介護老人福祉施設のレジリエンス対策 ～災害時にも強い組織と仕組みづくり～

社会福祉法人 海光会（静岡県）

住 所 〒 413-0101
静岡県熱海市上多賀 1016-10

TEL 0557-67-1971

URL <http://kaikoukai.jp/>

経営理念

■ 福祉理念

わたしたちの理念は人間尊重と活力ある生命力の確立のために真面目で誠実に行動し、利用者、ご家族、地域社会、国家に貢献するものである

■ 日常訓

- 1 私達は命の大切さを深く認識し利用者の健康と安全に万全を尽くします
- 2 私達は福祉の理念を十分に自覚し、良き協力者として相互が信頼と尊敬を深めていく努力をいたします
- 3 私達は健康的、透明性のある施設運営を目指し、奉仕的生命活動を使命とし、地域社会発展のために尽くします
- 4 私達はいつも寛容で親切でいばらず、おごらず、謙虚で自由で平等であり希望と輝きに満ちた人間の尊厳を基本にした集団である
- 5 私達は社会の変化に敏速に対応し心も物も情報も「鮮度管理」をしていきます

事業内容及び定員

全て併設

- ① 社会福祉事業
特別養護老人ホーム（80名）
軽費老人ホーム（15名）
（介護予防）短期入所生活介護事業所（20名）
（介護予防）通所介護事業所（30名）
（介護予防）訪問介護事業所（障害福祉サービス事業含む）
- ② 公益事業
居宅介護支援事業所

収入 (法人全体) 平成28年度決算

- | | |
|----------|---------------|
| ① 社会福祉事業 | 483,830,265 円 |
| ② 公益事業 | 9,970,164 円 |
| ③ 収益事業 | 0 円 |

職員数 (法人全体)

80名（非常勤含む）

当面する
経営課題

1. 市場、顧客の変化の定量化、定性化⇒タイムリーに変容し続ける組織づくり
2. 「企業価値」の見える化⇒現場消費されるサービスが、どのような価値を生み出しているかの理論化とそれが出来る人材の育成。(定量と定性)

第36回全国社会福祉法人経営者大会
分科会 経営実践事例

**介護老人福祉施設のレジリエンス対策
～災害時にも強い組織と仕組みづくり～**

2017年9月
社会福祉法人海光会
介護老人福祉施設 海光園
理事長 長谷川みほ

©社会福祉法人海光会

1

■ 目次

1. 法人概要
2. 想定される災害と被害
3. BCP計画の特色
4. BCP策定経緯と取組状況（PDCA）
5. さいごに

社会福祉法人海光会

2

1. 法人概要



社会福祉法人海光会

◎ 事業内容

1999年5月1日 海光園設置認可・事業開始(現在19年目)

| 事業所 (併設) | 施設内日中 | |
|-----------|---------|------------------------------|
| | 定員数 (人) | 従業員数 (人) |
| 合計 | 145 | 80 |
| 特別養護老人ホーム | 80 | ※最大 日中：55名 夜間：6名(宿直含む) |
| 軽費老人ホーム | 15 | |
| 短期入所 | 20 | |
| 通所介護 | 30 | |
| 訪問介護 | ※在宅 | |
| 居宅介護 | ※在宅 | |

内
訳

社会福祉法人海光会

◎ 施設建物の耐力

【建物の構造】

標準（首都圏）1.0

地震地域係数 静岡県1.2

現係数は1981年の『新耐震基準』に基づく
大きな建物などを新築する際の『構造計算』
時に利用される安全性をチェックするための数値

【震度6強】

倒壊・圧壊しない

【大規模修繕】

2016年7月終了



社会福祉法人海光会

5

2. 想定される災害と被害



2016年8月22日（月）台風9号の様子

社会福祉法人海光会

6

◎ 熱海市ハザードマップを参考



熱海市

※転載
危機管理課 許可済

社会福祉法人海光会

7

◎ 災害種類と被害想定

| 種類 | 想定 | 被害 |
|-------------|----------------------------|--|
| 風水害 (台風) | ○ がけ崩れ △ 土砂崩れ × 地すべり | がけ崩れによる山側 居室への土砂流入 ※地形から土砂崩れは 考えにくい。 |
| 地震 (火災) | 震度6以上 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフライン停止 ・ 窓ガラス粉砕 ・ 扉開閉不可 ・ 利用者転倒骨折 |

※時間帯で変動するリスク 9時台、16時台は送迎の為、海岸線を満車で走る。
また、一番怖いのは夜間。100人以上を夜勤者5名宿直者1名で対応。

※季節によるリスク 真夏・真冬によって人体に対するリスク度合いが異なる

社会福祉法人海光会

8

3. BCP計画の特色



社会福祉法人海光会

9

◎ 大事な軸

- ▶ 1：ゴール設定（どうありたいか）
- ▶ 2：実現性があること
特に、1日目～3日目

できる

ふやす

思ってたより『快適な避難生活』で良かった！

社会福祉法人海光会

10

4. BCP策定経緯と 取組状況 (PDCA)



社会福祉法人海光会

11

◎ 今までの経緯

▼平成23年3月 東日本大震災

▼平成24年度 (2012年)

・ 10月 静岡県ふじのくに防災士認定1名

※目標：毎年1名取得 (現在4名)

・ 防災対策会議 (偶数月) の新設

▼平成25年度 (2013年)

・ 初のライフライン停止実地想定訓練

・ 防災倉庫と備蓄品の整備

▼平成26年度 (2014年)

・ 訓練の繰り返し、防災士認定2人目

社会福祉法人海光会

12

▼平成27年度

- ・ ふじのくに防災士認定：3人目
- ・ BCP及び業務手順書の完成

▼平成28年度

- ・ 内閣官房国土強靱化室「民間の取組事例集」掲載
- ・ ふじのくに防災士認定：4人目
- ・ ぬきうち実地訓練 3カ月1回定例化
- ・ 訓練に風水害を追加
- ・ 地域防災訓練へ参加
- ・ 貯水槽からの直接取水できる蛇口取り付け
- ・ ガス式自家発電機設置

◎ PDCAの **P!** <環境整備>

業務手順書 (BCP) →

備蓄品の整備 ↓



◎ PDCAの **D** ! < 実地訓練 >

昨年度までの実績

| | 地震想定 | 風水害想定 | 地域防災訓練 |
|---------------------------|------------|------------|------------|
| 2012年(H24) | 3 | 0 | 0 |
| 2013年(H25) | 3 | 0 | 0 |
| 2014年(H26) | 2 | 0 | 0 |
| 2015年(H27) | 3 | 0 | 0 |
| 2016年(H28) 3カ月1回 以上 | 2 (計画2) | 2 (計画2) | 1 (計画1) |

(例) 夕刻の地震想定：ライフライン停止
～食事中編～



社会福祉法人海光会

(例) 風水害想定
状況確認・土嚢設置・海側へ移動



15

◎ 訓練からのきづき

訓練は、平時で当たり前のことが一瞬にして
無くなることを『実感』する時間

| | | |
|----------------|--------------------|------------------|
| 電気の 偉大さ | 訓練 やらないと まずい | 大けがへの 対処 |
| 職員の 動きが偏る | 買替え 買い足す 備品 | 非常食は皿に 移す必要なし |
| 暗いと長い 時間・動線 | | 本当に必要？ |

◎ PDCAのC！ <認識あわせ>

2カ月1回　： 防災会議



社会福祉法人海光会

17

ここまでやっても、不安。



社会福祉法人海光会

18

新たな施策 2点

社会福祉法人海光会

19

① ライフライン：ガス

“LPガスの自家発電機”の導入へ

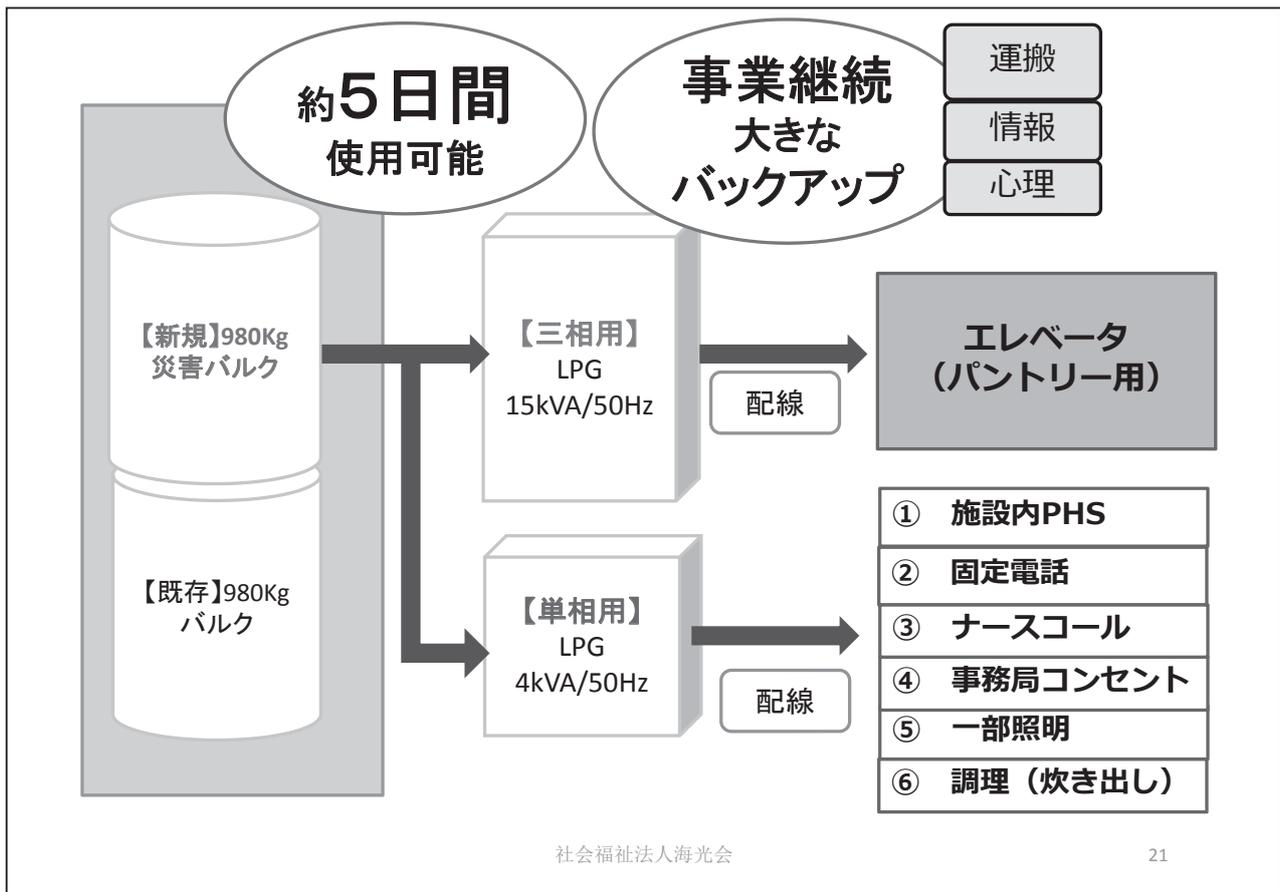
照明、EV稼働だけでなく直付けで炊き出しも！

ガス自家発電機（三相、単相1台ずつ）



社会福祉法人海光会

20



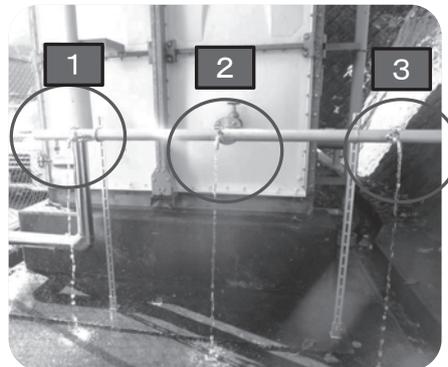
② ライフライン：水

- ・ 給水槽も電気が止まれば、ポンプが止まる。
- ・ 給水槽の約20トンを取水可能へ。

施工前



施工後 3か所の取水蛇口



5. さいごに

以上のような取組みを継続してきた結果・・・

2016年12月
医療・福祉カテゴリ全国2番目
(介護福祉施設としては全国初)
レジリエンス認証を取得しました。



災害にも耐えうる施設であるために

